



さくらんぼコース



厳しい残暑が続いていましたが、少しずつ過ごしやすくなり、ようやく秋を感じられるようになってきました。風も心地がいいこの季節にはゆっくりお散歩をしてカマキリやバッタ、どんぐりや落ち葉など”秋の宝物”探しを楽しんでみるのもいいですね！さくらんぼコースでの園庭あそびでは、歩く楽しみを味わいながら、土や葉に触れる体験をたくさんしていきたいと思ひます。

10月のプログラム

火曜日 活動開始 <9時15分>	22日	園庭あそび	活動の後、第二ゆりかごWEC学院の子どもたちと一緒にエンジェルリトミックに参加して頂くことができます。 ※事前の申し込みをお願いします。
	29日	季節の製作あそび	

～オープンスクールのご案内～

第二ゆりかごWEC学院の子どもたちの様子を見たり、入園案内や施設紹介があります。興味がある方は、この機会に是非ご参加ください。お問合せ・お申し込みは、事務室までお願い致します。

<0982-37-0787>



日程 10月9日(水)・10日(木)・11日(金)
時間 10:00~11:00
(受付時間はお申し込みの際にご確認ください)



発達を促す砂遊びの10のヒント

同志社女子大学現代社会学部教授 笠間浩幸先生



砂は、遊び方が無限に広がる「究極に自由なあそび道具」であり、砂遊びには幼児期に経験したい大切な体験がたくさんつまっています。

1. 感覚 形を自由に変える砂にまず視覚的な関心に向け、やがて温度の違う砂などの違いを手指や素足で感覚的に感じ取ります。
2. 心 砂には子どもの体や動きをありのまま受け止めてくれる安心感があります。静かにすごしたいときも心地よい居場所になるでしょう。
3. 体の運動 砂の上を歩いたり走ったり飛び跳ねたりする動きには、微かなバランス感覚や筋力が必要です。
4. 操作性 砂を介したモノの扱いでは手指や手首、肩の動きや力の強弱やひねり具合などが重要です。
5. 言葉 あそびの深まりとともに砂場での子どもの語彙は増えます。
6. 社会性 モノの取り合いや砂のかけあいなどのトラブルを経験する中で、協同的なあそびも増え、人間関係も深めていきます。
7. 想像と創造 イメージが具体的な創造につながります。
8. 認知 変化する砂を通じて、物質の状態や自分の体との関係性を理解し、自分の言葉で表現できるようになります。
9. 科学的発想 自然の法則と関わりながら子どもたちは試行錯誤を繰り返し、仮説をもって実験的に確かめていきます。
10. 自己肯定 忍耐や集中力、自信や自己肯定につながり「自分を見る自分」と「見られる自分」の存在に気づいていきます。